

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【公開番号】特開2015-152817(P2015-152817A)

【公開日】平成27年8月24日 (2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-053

【出願番号】特願2014-27600(P2014-27600)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/36 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/36

G 0 3 B 13/36

H 0 4 N 5/232 H

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月10日 (2017.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る撮像装置は、撮影画角を変更する第 1 のレンズと、被写体に対するピントを変更する第 2 のレンズとを有する撮像光学系により結像した被写体像を電気信号に変換する撮像手段と、前記第 1 のレンズと前記第 2 のレンズとを駆動する駆動手段と、前記第 1 のレンズの駆動特性および前記第 2 のレンズの駆動特性の少なくとも一方に応じて、前記被写体に対するピント位置を制御するためのウォブリング量を設定する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影画角を変更する第 1 のレンズと、被写体に対するピントを変更する第 2 のレンズとを有する撮像光学系により結像した被写体像を電気信号に変換する撮像手段と、

前記第 1 のレンズと前記第 2 のレンズとを駆動する駆動手段と、

前記第 1 のレンズの駆動特性および前記第 2 のレンズの駆動特性の少なくとも一方に応じて、前記被写体に対するピント位置を制御するためのウォブリング量を設定する制御手段とを備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記第 1 のレンズの駆動特性および前記第 2 のレンズの駆動特性の少なくとも一方と、前記第 1 のレンズの敏感度および前記第 2 のレンズの敏感度の少なくとも一方と、に応じて前記ウォブリング量を設定することを特徴とする請求項 1 に記載の撮

像装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記第 1 のレンズの敏感度と、前記第 2 のレンズの敏感度と、前記第 1 のレンズの駆動特性と、前記第 2 のレンズの駆動特性とに応じて前記ウォブリング量を設定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記第 1 のレンズの駆動特性および前記第 2 のレンズの駆動特性とは、ヒステリシス、位相特性、温度特性、経時変化特性、姿勢差特性のうちの少なくとも 1 つであることを特徴する請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記第 2 のレンズの敏感度が前記第 1 のレンズの敏感度より小さい場合に、前記第 1 のレンズを用いずに、前記第 2 のレンズを用いてピント位置を制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記第 1 のレンズまたは前記第 2 のレンズの駆動特性に応じて、前記第 1 のレンズまたは前記第 2 のレンズの駆動可能範囲を変更することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。